



平成 26 年 8 月 12 日

各 位

上 場 会 社 名 株 式 会 社 イ ン タ ー ト レ ー ド  
 代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 尾 崎 孝 博  
 (コード番号: 3747 東証マザーズ)  
 (URL: <http://www.itrade.co.jp>)  
 本 社 所 在 地 東 京 都 中 央 区 新 川 一 丁 目 17 番 21 号  
 問 合 せ 先 取 締 役 丸 山 與 一  
 電 話 番 号 0 3 - 4 5 4 0 - 3 0 0 2

### 平成 26 年 9 月期 業績予想の修正及び繰延税金資産の取崩しに関するお知らせ

平成 25 年 11 月 11 日に「平成 25 年 9 月期決算短信」で公表いたしました平成 26 年 9 月期（平成 25 年 10 月 1 日～平成 26 年 9 月 30 日、以下「当期」）の通期業績予想（以下「期初計画」）を下記のとおり修正しますので、お知らせいたします。

#### 記

#### 1. 平成 26 年 9 月期通期の業績予想（平成 25 年 10 月 1 日～平成 26 年 9 月 30 日）

##### (1) 業績予想の修正

(連結)	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 3,000	百万円 205	百万円 200	百万円 180	円 銭 25.05
今回修正予想 (B)	2,460	△150	△140	△130	△18.09
増減額 (B-A)	△540	△355	△340	△310	
増減率 (%)	△18.0	—	—	—	
<ご参考>前期実績 (平成 25 年 9 月期通期)	2,725	△98	△95	△128	△17.85

(個別)	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 2,600	百万円 160	百万円 165	百万円 150	円 銭 20.88
今回修正予想 (B)	2,240	10	15	25	3.48
増減額 (B-A)	△360	△150	△150	△125	
増減率 (%)	△13.8	△93.8	△90.9	△83.3	
<ご参考>前期実績 (平成 25 年 9 月期通期)	2,523	154	158	43	6.01

## (2) 修正の理由

### ① 連結業績

当社グループは、従来からの主力事業である金融ソリューション事業に加え、ITソリューション事業とヘルスケア事業を収益の柱として育てる方針を採っています。しかしながら、金融ソリューション事業においてはセグメント利益が順調な進捗であるものの売上高は期初計画を下回り、ITソリューション事業とヘルスケア事業においては売上高とセグメント利益が共に期初計画を大きく下回る見通しとなり、今回の業績予想修正に至りました。

各セグメントの概況は以下のとおりです。

#### (金融ソリューション事業)

マルチアセット/マルチカレンシー取引や裁量執行機能の強化など、当社のネットワークに起因する長所を訴求する次世代プラットフォーム『TIGER Trading Platform PROSPECT』(以下、『PROSPECT』)を来期に本格稼働させる予定です。当社は平成22年以来、当社のASPプラットフォーム上で情報ベンダー、マーケット運営会社、金融機関等とともに複合サービスを当社顧客に対して提供する『MIOP構想』(Market Integrating Open Platforms構想)を展開してまいりましたが、来期から稼働予定の『PROSPECT』は『MIOP構想』を発展させたものであり、顧客が主体的にビジネスモデルをアレンジできるトレーディングプラットフォームです。当期は準備段階として『PROSPECT』に集まる取扱い株式量(流動性)を確保すべく、10件の新規顧客を開拓することを目標としています。

一方で、現在の当社主力製品の証券ディーリングシステム『TIGER Trading System』は、固有ハードウェアを必要としないサービス提供モデルの一般化(ASP化、クラウド化)や、ソフトウェア部分における競合他社との競争激化の影響により、低価格化が進んでいます。

当期においては、稼働済または受注済の新規顧客を現時点で7件獲得しているものの予想以上の販売価格の下落があり、期初計画での売上高を下回る要因となりました。一方で、継続的なコスト削減から利益額は期初計画通りの進捗をしており、当社グループの収益の支柱となっています。

#### (ITソリューション事業)

従来からの収益源であるグループ経営管理ソリューションパッケージ『GROUP CATS』に加え、経営管理ソリューション(PCA『Dream21』専用オプション経営ダッシュボードシステム)『GroupMAN@IT』やバーチャルエンジニアサービス『GadicsMAN@IT』を収益の柱へと育てる方針のもと営業活動をしています。『GadicsMAN@IT』が1,000台弱の純増実績をあげる等一定の成果が出ましたが、『GroupMAN@IT』の販売活動においては、最終局面まで進んでいる商談はあるものの対象企業の消費税率変更対応により営業活動の一時的な遅れが出るなど全体的な受注の進捗が思わしくなく、売上高、セグメント利益ともに期初計画を下回る見通しとなりました。

#### (ヘルスケア事業)

ハナビラタケに関する製品ラインナップの拡充等に向けた研究開発等の結果、当期においては化粧品『β beauty Glucan Cu!』シリーズや健康食品の新基準であるエビデンスクオリティ認証(※1)を取得したサプリメント『超寿はなびらたけ』『超美はなびらたけ』といった新製品のリリースを実現しました。しかしながら、通信販売における顧客開拓の遅れ等の要因から、これら新製品の売上高の伸びが想定よりも緩やかなものとなりました。また、消費税増税後の消費意欲の低下により、

平成 26 年 4 月以降の商品全般の売上高が低下した影響もあり、売上高、セグメント利益ともに期初計画を下回る見通しとなりました。

(※1) エビデンスクオリティ認証

愛知県医師会の関連団体である「特定非営利活動法人健康情報処理センターあいち」が発行する認証。臨床試験により健康食品の科学的根拠を誰もが容易かつ客観的に知り得る必要性を踏まえ、臨床試験が実施された方法及び内容等において、事実に基づき適切に実施されたことを示す。

(自己資金運用事業)

前期までは金融商品の取引を行っていましたが、現在は方針を変更し、来期ファーストユーザー稼働が予定される『PROSPECT』に関連する研究等を行う予定です。当期は過渡期であり、若干の費用計上のみとなっています。

② 個別業績

①連結業績記載と同様の理由から、売上高、利益ともに期初計画を下回る予定となりました。

(3) 繰延税金資産の取崩し

業績予想と将来の利益見通しを考慮し、繰延税金資産の回収可能性を再検討した結果、当第 3 四半期末において繰延税金資産の一部を取崩すことといたしました。

これにより、連結業績、個別業績ともに 30 百万円を法人税等調整額として計上し、純利益の減少要因となりました。

2. 今後の方針

各セグメントにおいて以下の方針のもと、グループ業績の回復を目指します。

(金融ソリューション事業)

金融市場には様々なリスクが内包しています。そのリスクを抑え収益化するために、海外では様々な戦略的アイデアが提案され、今日の競争力の強化につながっています。国際的に通用するサービスが望まれる中、弊社は既存プラットフォームの固定概念を捨て、良い部分を残す形で新しく設計しました。

来期稼働予定の次世代プラットフォーム『PROSPECT』は、当社が創業以来培ってきた流動性や市場接続等ネットワークをいかしつつ、マルチプロダクトマルチカレンシー、最良執行、流動性分析情報の提供や金利系サービス等を実装した国際標準準拠の革新的なソリューションとなる予定です。証券会社に加えヘッジファンド等のバイサイドまでを販売対象とするほか、銀行、保険会社等の巨大市場への参入も視野に入れており、『PROSPECT』を通して顧客層及び顧客数を確実に拡大させていきます。現在、システム開発及びプロモーション・営業活動を積極的に展開中であり、平成27年3月頃にファーストユーザーでの本番稼働を計画しております。

これまでも取り組んできたPTS及び外資系証券会社等への当社ディーリングシステム接続を更に加速させ、安定収入の底上げにつなげます。また、提供機能の拡張に伴い、従量課金体系のサービスに積極的に取り組みます。結果的に『PROSPECT』に集まる流動性の増加につながり、証券会社やバイサイドに対する『PROSPECT』の訴求力向上に寄与します。

平成27年9月には、東京証券取引所の株式売買システム『arrowheadリニューアル』が予定されており、それに併せて当社の各種関連パッケージ、サービスもリニューアルを実施し、当社シェアの一層の拡大を目指します。

FXシステムに関しては数年来安定した売上高を計上しています。複数の大手取引先から新機能の受託開発の引き合いをいただいております、更に取引額を高めていく方針です。

#### (ITソリューション事業)

経営管理ソリューション（PCA『Dream21』専用オプション経営ダッシュボードシステム）『GroupMAN@IT』、経営統合管理プラットフォーム『E2』、及びバーチャルエンジニアサービス『GadicsMAN@IT』を核に有機的にプロダクト、サポートサービスを展開します。

『GroupMAN@IT』は約1,000社のユーザーを持つピー・シー・エー株式会社の統合ERPパッケージ『Dream21』の専用オプション機能としてユーザーが意識することなく、経営状況の可視化を行うための「経営ダッシュボードシステム」として提供されています。

また、「経営統合管理プラットフォーム」である『E2』の本格的な提供を開始します。

『E2』は企業経営、意思決定、状況把握等に必要とする「すべての経営情報の統合管理と活用」を実現する経営情報基盤システムです。『E2』は経営を支える「業務」「システム」「データ」「情報」等をシームレスに連携する双方向Interface（FLEX I/O）、ビジネスロジック・DWH・マスタ統合管理を全て包含し、経営プロセスアプローチによる経営粒度統一と一元化を司るCoreEngine、経営鮮度の高いRealTimeデータを自由な視点で視覚化するMultiViewにより構成される経営統合基盤です。

企業における経営管理は各部門システム、各業務システム、各情報を連携させるために複雑なブリッジシステムや連携ロジック、カスタマイズ・アドオン等により膨大なコストと時間をかけて開発したシステムによる運用が一般的でした。しかし、このようなシステムは運用を開始した時点で陳腐化が始まり、複雑化したシステムは機能や業務の拡張性や柔軟性を阻み、修正や拡張を行う都度、更に多くのコストと時間を要するレガシー化要因でした。その結果、手作業による運用や業務分断が解消されませんでした。

『E2』はそれら全てを吸収し、インプットとなる各業務システム側は変更せず、E2につなぎ込みさえ行えば経営管理に必要なN:Nの双方向連携、データ分析・加工、必要データのGenerate、分析・加工・Generate結果の各業務システムへのフィードバック等々を容易に実現します。

『E2』提供にあたっては基本プラットフォーム部分に加え、独自要望にきめ細かく応えるオーダーメイドの拡張プラットフォームも提供します。『E2』は大手SIerが展開する経営ソリューションを支える新たなエンジンシステムとしての供給を基本方針としており、複数SIerへの並行提供を目指します。現在、開発と並行してSIer・ベンダー約10社と商談を進めており、平成27年3月までのファーストユーザー稼働を目指しています。

『GadicsMAN@IT』の稼働台数は着実に増えていますが、期初の目標であった3,000台には届かない見込みとなりました。当期の受注状況から、販売パートナーを通じた営業活動が有効であることが判明しており、来期は、現在稼働中の販売パートナー約10社を30社程度まで増やし、契約台数の増加速度を加速させることを目指します。

更に、今後はサポート体制を強化し、MultiProduct/Multi業務対応のワンストップサポートサービスを展開します。

#### (ヘルスケア事業)

安倍政権による規制緩和の一環として、健康食品などを対象に新たな機能性表示が実現されようとしています。背景として高齢化社会が加速している日本では、毎年1兆円近く医療費が増大しているという深刻な状況があり、今後「治療」から「予防」への転換が日本の大きな政策になると考えています。医療先進国である欧米諸国などでは、健康食品を病気予防の一環と捉え、健康食品が確固たる地位を築いています。日本も先進欧米諸国のように、健康に着目し発展することが考えられます。

中長期的に、当社は「予防医学」というテーマで、社会貢献をしていく事を目指しヘルスケア事業を展開しています。「健康」と「美」が高齢化社会において今後大きな市場に発展していくと考えます。

当社のヘルスケア事業では、本物の商品を消費者に提供するために、平成24年後半よりサプリメントにおける臨床試験を実施しました。この臨床はICH-GCP（日米欧の医薬品における臨床試験の国際基準）に準拠しており、WHO（世界保健機構）のwebサイトにも臨床試験内容が掲載されています。この臨床試験の結果の発表以降、試験対象商品の卸売り先は増加しました。

しかしながら、当社エビデンスマーク取得「はなびらたけ」商品は、リピート率は高いものの、知名度が低く、消費者に広く認知されていないため、通販による販売増加には至っていません。

現在、消費者庁で検討されている健康食品の機能性表示の規制緩和が議論され最終段階にあります。緩和後早々に積極的プロモーションを行うことに加え、研究面でも当社ヘルスケア商品のアピールポイントである「はなびらたけ」や、今期入手した貴重なブラジル産天然プロポリス等の有効性をより明らかにします。そして、認知度向上のために複数の専門機関との共同研究を準備しており、早い段階で収益に結び付けます。

以上の背景から、『超寿はなびらたけ』『超美はなびらたけ』等のエビデンスクオリティ認証を取得した効能効果に対する科学的裏付けがある自社ブランドサプリメント及び初の自社ブランド化粧品『βeauty Glucan Cu!』の販売活動をより積極的に行います。

販路の開拓は当期中に着実に進んでおり、来期は『健康いいものOnline』『βeauty Glucan』の2つの通販サイト、老人クラブへの当社独自の販路、ドバイを中心とした海外市場への販路、企業内福利厚生としての商品提供、アンバサダーショップでの販売、海外SNSを利用した販売といった経路を十分に活用します。また、化粧品原料等をアジア圏に販売する交渉をしており、来期以降、本格的に業績に寄与させることを目指します。

#### (自己資金運用事業)

来期ファーストユーザー稼動が予定される『PROSPECT』に関連する研究等を行い、グループの業績に貢献する予定です。

配当予想につきましては、1株当たり年間配当金3円とする期初発表予想に変更はございません。

株主の皆様のご期待に反する大幅な下方修正となり、誠に申し訳ございません。来期は業績を回復できるよう、グループ一丸となり取り組んでまいります。

#### (注) 業績予想数値について

上記に記載した内容は、本リリースを公表した時点において入手可能な情報に基づき判断した見

通しであり、不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

以上